

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子



ゆめ・みらい通信



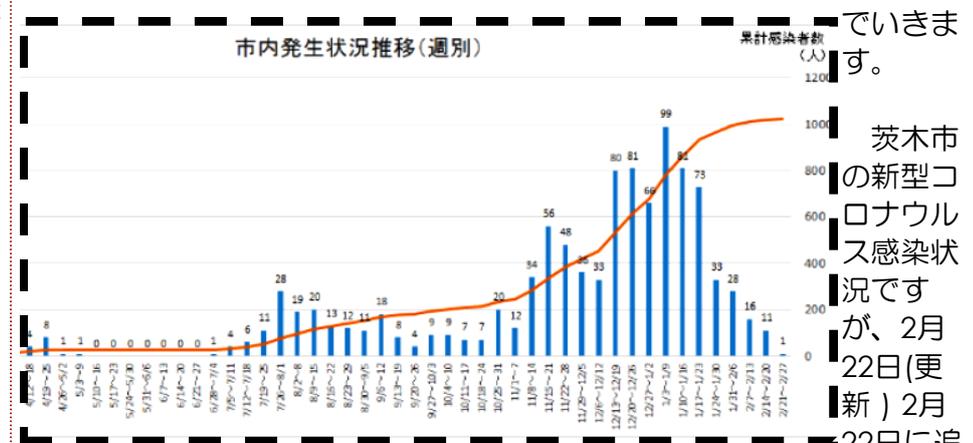
**3月議会に予算がでています
ワクチン接種体制確保が進みます**



みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

早いもので、2月ももうすぐ終わります。昔から「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますが、時の経つのが速さに驚きます。コロナ禍でもあり、あっという間に1年が過ぎたように感じています。3月には卒園式、卒業式と人生の節目の大きなイベントが続きますが、これらも人数を減らして静かに行われるようです。卒業、卒園の皆様おめでとうございます！

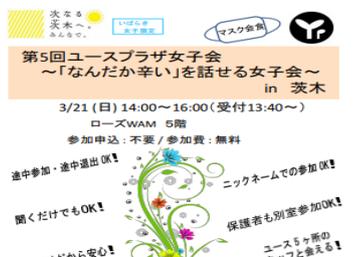
医療従事者の方へのコロナワクチンの先行接種が始まりました。茨木市においても3月議会前に市長の専決処分としてワクチン接種券の作成、郵送費用などがあげられており、接種に向けた体制作りが進められています。保健医療課の中に「新型コロナワクチン対策チーム」が設置され、3月にはコールセンターを開設し、皆様のご相談に対応します。接種会場の確保、医療機関との調整などワクチン接種には医師会をはじめ関係機関のご協力をいただきながら、円滑に進められるよう取り組んでいきます。



02/07~02/13	16人
02/14~02/20	11人
02/21~02/22	1人

加された方は0人で、累計は1022人です。大阪府は62人でした。

3月議会中、朝のご挨拶お休みします。



3月21日ユースプラザ女子会チラシ

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆ 玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆ 1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長／2020穂積地区福祉委員会顧問
- ◆ 2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選／2021・1選挙5期目当選
- ◆穂積地区 在住

お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460 (留守時はメッセージをお願いいたします。)
Email: contact@hiroko-abiko.jp
茨木市紫明園10-74-405
http://www.hiroko-abiko.jp



新型コロナワクチン 接種での「基礎疾患を有する者」とは

(厚生労働省資料より)

- 以下の病気や状態の方で、通院/入院している方
 - 慢性の呼吸器の病気
 - 慢性の心臓病(高血圧を含む。)
 - 慢性の腎臓病
 - 慢性の肝臓病(肝硬変等)
 - インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
 - 血液の病気(ただし、鉄欠乏性貧血を除く。)
 - 免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む。)
 - ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
 - 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
 - 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)
 - 染色体異常
 - 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
 - 睡眠時無呼吸症候群
- 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する厚生労働大臣の指示等について

予防接種実施規則の改正概要②

ファイザー社の新型コロナワクチンは、

- 1. 8ミリリットルの生理食塩液で希釈し、
- 18日以上の間隔をおいて二回筋肉内に注射するものとし、
- 接種量は、毎回0.3ミリリットルとする。

①接種量等

1.8ミリリットルの生理食塩液で希釈したファイザー社新型コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン(SARS-CoV-2)を2回 筋肉内に注射するものとし、接種量は、毎回0.3ミリリットルとすること。ファイザー社新型コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン(SARS-CoV-2)と他の新型コロナウイルスワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性及び有効性に関するデータはないことから、同一の者には、同一のワクチンを使用すること。

②接種間隔

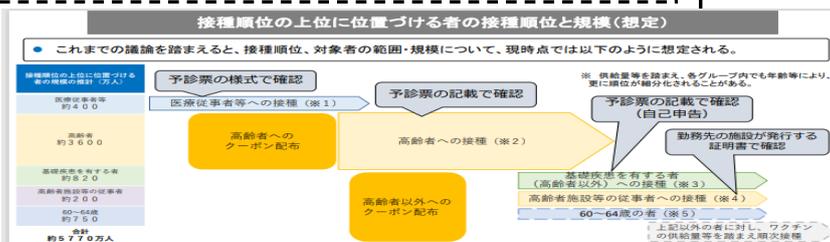
18日以上の間隔をおいて、標準的には20日の間隔をおいて2回接種することとし、1回目の接種から間隔が20日を超えた場合はできるだけ速やかに2回目の接種を実施すること。前後に他の予防接種を行う場合においては、原則として13日以上の間隔をおくこととし、他の予防接種を同時に同一の接種対象者に対して行わないこと。

③接種箇所

通常、三角筋に筋肉内接種すること。静脈内、皮内、皮下への接種は行わないこと。

④接種後の経過観察

接種後にアナフィラキシーを呈することがあるため、接種後少なくとも15分間は被接種者の状態を観察する必要があること。また、過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を引き起こしたことがある者については、接種後30分程度、状態の観察をする必要があること。



「毎週火曜日・木曜日の朝はJR茨木駅西口下、水曜日の朝は南茨木駅、金曜日の朝は阪急茨木市駅東口南側」にてご挨拶と週刊通信の配布をしています。お声をかけていただけましたらうれしいです。しかしながら、まだまだ感染予防に気をつけねばなりません。状況を見ながらご挨拶させていただこうと思っております。

